

秋の講演会を開催しました

10月31日(土)、大阪府立社会福祉会館を会場に、秋の講演会を開催しました。今年もたくさんの方に参加いただきました。

季節外れな天気が続く中、笑い声も交じりつつ熱気に包まれた講演会でした。

みなさんからお寄せいただいたアンケートで、講座の様子をご紹介します。

「聞こえにくい子どもの言の葉と自己決定能力の向上を考える

～一緒に考え、それぞれの意見を整理し、尊重しあいませんか～」

(講師 下田看護学校専門学校 加藤 和彦先生)

参加者の感想

- ・挿絵を読むということが、今までの自分にはない観点で大変勉強になりました。聾学校における国語教材研究のおもしろさを再認識できました。
- ・幼稚部を担当しているので、国語の指導をすることは無いのですが、参考になることがいくつもありました。「日本語が読める」ことが単に「ひらがなを拾い読みできる」だけで、「内容を理解できている」わけではないこと。わかる言葉の量を評価するだけでなく、わかることわからないことが区別できるようになることなど。小学校で学習言語の中で生活をしていく前段階の今、何が必要なのか少しわかったような気がしました。
- ・読めると分かるの違い、本当に痛感させられながら毎日の授業に取り組んでいます。教材のなかでの文脈やキーワードを見極めて、教師自身がしっかりと教材を読み込んで指導していかなければならないと再確認することができました。また、日本語での読み書きの力をつけるためには声に出して読む、話すことの徹底が重要であると学んだので、日頃の教育でも徹底していきたいと思いました。
- ・国語といえば、教科書の内容の理解ということだけに終わってしまっている。少しの時間を見つけて、「絵を読む」ということに取り組んでみたい。そこから話し言葉から書き言葉に近づけたらと思った。言葉の意味を聞いたり、確認したりすることが多い。文脈の中からまた、前後の文、言葉から場面を想像させて言葉に戻るといった方法について勉強になりました。
- ・現在幼稚部を担当していますが、幼稚部で何をすべきか再認識できました。「行動の文脈」の中で、ことばを身につける、心にことばをのせる、ことを大切に組み込んでいきたいと思えます。



- ・おもしろかったです。イメージを持たせる、文で書かれていることを絵として頭に浮かべることができるかって必要ですね。
- ・難聴児の教材文の読み、指導のヒントをたくさん学ぶことができました。難聴児に限らず、児童はすぐに挿絵を見てしまうので、私は「絵などなければいいのに」と思っていました。でも先生は絵を読む大切さ、絵から前後をイメージさせる指導を教えてください、これなら児童も生き生きとイメージを膨らませることができるのではないかと思います。早速、実践してみたいと思います。今回のお話を伺って、私自身、教材研究が楽しくなりそうです。
- ・日本語を身につけるためには声に出して読む、話すを徹底しなければならないことを再認識しました。また、挿絵から描いてあるものだけを読み取るのではなく、どんな心情になったかなど、日常生活と関連付けて読み取っていかなければならないと思いました。今後、教材研究をする中で、子どもにどんな力をつけさせたいか、キーワードは何かなど、学習者の立場に立って取り組まなければならないと改めて学ばせていただくことができました。
- ・自分の目で読む教材文と、子どもの目で読む教材文には自分が思っている以上にずれがあるのだろうかと思われました。子どもがどんな読みをしていくのか予想をして授業にのぞまないといけないと感じました。国語もそうですが、道徳でも教材文の読みが浅いからか考えが深まらなかったり、単純に「いやな気持ち」で終わってしまったりして、普通学級との違いをひしひしと感じています。読解力や想像力は読書量に比例するのかなと思っていましたが、そうでもないのかな？と感じる今日この頃です。

感想の他にも、数多くのご意見や、改善案をいただきました。次年度以降の参考とさせていただきます。ありがとうございました。



今後の予定

平成28年 1月29日(金) 第3回代表委員会(奈良県立ろう学校)

1月30日(土) 冬の学習会(奈良県文化会館)

「手話を生かした日本語指導」

講師 東京都立大塚ろう学校 木島 照夫 先生

「きこえと発音、ことば」

講師 筑波大学附属聴覚特別支援学校

木村 淳子 先生

3月下旬

集録第17号発行・機関誌54号発行

近畿教育オーディオロジー研究協議会事務局

事務局長 柳瀬 尚子

〒655-0013

TEL : 078-709-9301

兵庫県神戸市垂水区福田1-3-1

FAX : 078-709-0371

兵庫県立神戸聴覚特別支援学校内

メール : na_yanase@hyogo-c.ed.jp